

2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月14日

上場会社名 株式会社 サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 東
 コード番号 7829 URL https://www.samantha.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 永井 利博 TEL 03(6400)5524
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	6,301	146.4	△994	-	△919	-	△967	-
2021年2月期第1四半期	2,557	△60.2	△1,152	-	△1,177	-	△1,185	-

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 △981百万円 (-%) 2021年2月期第1四半期 △1,196百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	△14.69	-
2021年2月期第1四半期	△33.58	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	23,214	5,810	23.9
2021年2月期	24,067	6,792	27.3

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 5,543百万円 2021年2月期 6,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年2月期	-	-	-	-	-
2022年2月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,909	100.8	△255	-	△256	-	△313	-	△5.81
通期	34,165	51.2	316	-	313	-	102	-	1.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	65,851,417株	2021年2月期	65,851,417株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	214株	2021年2月期	214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	65,851,203株	2021年2月期1Q	35,296,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等に関するご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更致しました。なお、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響により、3回目の緊急事態宣言が発令されたことで、経済活動は制限され、景気の先行きは不透明感を増している状況にあります。

当社グループが属するファッション・アパレル業界におきましては、4月25日からの3回目の緊急事態宣言が発令されたことにより、大型商業施設に対する休業や営業時間の短縮が再び要請されるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような厳しい経営環境のもと、当社グループは全国の店舗におきまして、感染防止の取組みを実施しながら営業を続けてまいりました。基幹ブランドであるサマンサタバサからはSDGsへの取組みとして、エシカルなファッションを提案する新ライン、サマンサグリーンがデビュー、時代とお客様のニーズに対応し、また成長戦略であるEC、デジタル領域の強化、オムニコマースの推進を図り、既存顧客の買い物利便性の向上と新規顧客の獲得を目指し、売上の回復を図ってまいりました。同時に仕入の削減や在庫販売の強化、人員の効率化、広告宣伝費・販売促進費の抑制などの経費削減にも努めてまいりました。

店舗展開につきましては、バッグ事業は4店舗の退店、ジュエリー事業は1店舗の出店、アパレル事業は3店舗の出店、5店舗の退店となり、サマンサタバサグループ合計で前年度末比4店舗純減し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は304店舗となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は63億1百万円（前年度比146.4%増）、営業損失は9億94百万円（前年度は11億52百万円の損失）、経常損失は9億19百万円（前年度は11億77百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は9億67百万円（前年度は11億85百万円の損失）となりました。

なお、当社グループは「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は232億14百万円であり、前連結会計年度と比較して8億53百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金が5億2百万円、受取手形及び売掛金が3億18百万円減少、商品及び製品が2億11百万円増加したことなどによるものであります。

総負債は174億4百万円であり、前連結会計年度と比較して1億28百万円増加しております。主な要因は、短期借入金が5億46百万円、賞与引当金が1億98百万円増加、その他（流動負債）が5億23百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は58億10百万円であり、前連結会計年度と比較して9億82百万円減少しております。主な要因は、利益剰余金が9億67百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症再拡大による緊急事態宣言の延長等、景気の先行きは依然不透明な状況が続いておりますが、当社としてもその影響を現在精査中であり、2022年2月期通期の業績予想につきましては、業績予想の修正が必要と判断した時点で速やかに公表することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,491	1,988
受取手形及び売掛金	1,474	1,156
商品及び製品	8,246	8,457
仕掛品	1	1
原材料及び貯蔵品	110	103
その他	439	360
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,761	12,065
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,813	3,813
その他	2,926	2,864
有形固定資産合計	6,740	6,678
無形固定資産		
その他	1,754	1,688
無形固定資産合計	1,754	1,688
投資その他の資産		
差入保証金	2,005	1,997
その他	805	784
投資その他の資産合計	2,810	2,782
固定資産合計	11,306	11,149
資産合計	24,067	23,214
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085	1,208
短期借入金	2,739	3,285
1年内返済予定の長期借入金	400	400
未払法人税等	239	119
賞与引当金	238	436
その他	2,629	2,106
流動負債合計	7,332	7,557
固定負債		
長期借入金	9,028	8,932
ポイント引当金	232	245
その他	682	668
固定負債合計	9,943	9,847
負債合計	17,275	17,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132	2,132
資本剰余金	7,921	7,921
利益剰余金	△3,594	△4,561
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,459	5,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	51
為替換算調整勘定	63	△0
その他の包括利益累計額合計	108	51
非支配株主持分	224	266
純資産合計	6,792	5,810
負債純資産合計	24,067	23,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	2,557	6,301
売上原価	833	3,012
売上総利益	1,723	3,289
販売費及び一般管理費	2,876	4,283
営業損失(△)	△1,152	△994
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	—	0
為替差益	—	84
不動産賃貸料	—	28
その他	2	21
営業外収益合計	3	137
営業外費用		
支払利息	6	31
為替差損	21	—
その他	0	30
営業外費用合計	27	62
経常損失(△)	△1,177	△919
特別利益		
固定資産売却益	4	—
その他	2	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
固定資産除却損	0	2
その他	—	0
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,170	△922
法人税、住民税及び事業税	16	21
法人税等調整額	—	△9
法人税等合計	16	11
四半期純損失(△)	△1,186	△933
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	33
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,185	△967

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純損失(△)	△1,186	△933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	6
為替換算調整勘定	△12	△54
その他の包括利益合計	△10	△47
四半期包括利益	△1,196	△981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,190	△1,023
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが属するファッション・アパレル業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う4月25日からの3回目の緊急事態宣言が発令されたことにより、大型商業施設に対する休業や営業時間の短縮が再び要請されるなど、依然として厳しい状況が続いております。

この結果、前連結会計年度末時点において、当社グループで想定したコロナ収束時期は後ろ倒しになっておりますが、現時点において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更は行っていません。

(財務制限条項)

短期借入金のうち837百万円、1年内返済予定の長期借入金400百万円、長期借入金のうち8,124百万円(2020年10月27日付シンジケートローン契約)には下記の財務制限条項が付されております。

- ①2022年2月期末日及びそれ以降の各事業年度末日において、連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産金額を、2021年2月期末日における連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産金額の75%に相当する金額、又は直近の事業年度末日における連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。
- ②2021年2月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結及び単体の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと。
- ③株式会社コナカの連結子会社であることを維持すること。
- ④全貸付人及びエージェントの事前承諾なく、株式会社コナカを債権者とする2020年10月15日付の8億円の借入金の弁済を行わないこと。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは当第1四半期連結累計期間に9億94百万円の営業損失を計上し、前々連結会計年度から継続して営業損失を計上しております。

このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該事象又は状況を解消するための対応策として、2020年7月21日付けで株式会社フィットハウスと合併し、財務基盤が強化されるとともに、株式会社コナカの連結子会社になることにより、同社より2020年10月15日に8億円の長期借入を行うとともに、取引金融機関とは既往債務に約18億円を追加したりファイナンスを2020年10月30日に実施いたしました。これらの借入により、当面の経営に支障をきたさない十分な資金を確保できたと判断しております。

これにより、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。